

持続可能なツアー作りについて（背景）

濤沸湖＝網走市と小清水町にまたがる周囲約28kmの湖



北海道でも有数の水鳥の飛来地

保全と利用のルール

- 渡り鳥の中継地
- タンチョウやオジロワシの営巣地
- 繁殖生態が不明なオカヨシガモの繁殖地
- ラムサール条約登録湿地（平成17年）



野鳥の繁殖状況などの利用実態について、十分な知見が得られていないため、平成26年策定ルールでは、「湖面にボートやカヌーを持ちこまないこと（※漁業関係者を除く）」としていました。

湖面利用の在り方について、協議を経て持続可能な利用を可能とする仕組み作りへルールを改正。※条件あり

持続可能なツアー作りについて（新ルール）

カヌーを活用した濤沸湖のワイズユース運営案（湖面・湖岸のワイズユースルール）に基づいた乗り入れおよびカヌーツアーの実施を行う。

※湖面利用できるのは、登録ガイドのみ

鳥類ファースト

- ・ 雛連れ家族からは、距離を取る。姿が見えないところまで下がる。
- ・ ヨシ原（営巣地）からは5m以上の離岸距離を保つ。
- ・ ヒシクイが湖面にいる場合はカヌー湖面利用しない。
- ・ タンチョウ飛来時には、ルート等変更を検討

カヌー利用時期・時間

6月～8月 8:00～16:00

カヌー湖面連続滞在時間

4時間

カヌー出艇頻度

最大で毎週2回

カヌー出艇数

3艇

この新ルールに基づいたカヌー・カヤックツアーの造成をするために、ガイド育成・登録制度の構築などに取り組む。

登録ガイドの前提条件

1. 瀧沸湖の魅力伝達


湖の成り立ち

自然環境の特筆点

保全の取り組み、地域産業等

小清水町観光協会 瀧沸湖いきもの保全活動 カヌー走行日誌 2020年3月19日08時

A 走行日時	年 月 日	時 分
B 走行者氏名	登録コード: 訂正欄:	
C 走行時の天候	天気: 風向: 風速: その他:	
D 階層	オカヨシガモ情報 (A:成鳥、J:幼鳥、M:雄、F:雌、U:不明)	
オカヨシガモ情報	1:AMX AFK ALX JK UX 7:AMX AFK ALX JK UX 2:AMX AFK ALX JK UX 8:AMX AFK ALX JK UX 3:AMX AFK ALX JK UX 9:AMX AFK ALX JK UX 4:AMX AFK ALX JK UX 10:AMX AFK ALX JK UX 5:AMX AFK ALX JK UX 11:AMX AFK ALX JK UX 6:AMX AFK ALX JK UX 12:AMX AFK ALX JK UX	
オカヨシガモ情報	ワカボシ情報 (A:成鳥、J:幼鳥、M:雄、F:雌、U:不明)	
ワカボシ情報	1:AMX AFK ALX JK UX 7:AMX AFK ALX JK UX 2:AMX AFK ALX JK UX 8:AMX AFK ALX JK UX 3:AMX AFK ALX JK UX 9:AMX AFK ALX JK UX 4:AMX AFK ALX JK UX 10:AMX AFK ALX JK UX 5:AMX AFK ALX JK UX 11:AMX AFK ALX JK UX 6:AMX AFK ALX JK UX 12:AMX AFK ALX JK UX	
E 植物	観音草等 水辺に自生する、葉裏、背、胸、本葉、葉柄 水辺に自生する、葉裏、背、胸、本葉、葉柄 水辺に自生する、葉裏、背、胸、本葉、葉柄 水辺に自生する、葉裏、背、胸、本葉、葉柄	
F トンボ類	種類等 水辺に自生する	
G その他		



2. 規定のモニタリング調査の実施およびカヌー走行日誌の記録

オカヨシガモの生態情報の定量・定性データ収集

水草の分布範囲の記録

トンボ類チェックシートの記録

登録ガイドは、カヌー・カヤック走行技術（有資格者）を持ち、かつ瀧沸湖についての知識とモニタリング技術を有する必要がある。

実施計画

6月

7月

8月

カヌー未経験者

カヤックガイド
講習会

全5回

6月4日ワイズユース講習会

モニター&
本番ツアー

トレーニングガイド
3回以上

原生花園
花の講習会

6月4日ワイズユース講習会

カヌーガイド経験者

モニター
走行

各ガイド2回以上参加

※ガイドが実際のコースを走行

本番
ツアー

本番ツアー

結果

6月

7月

8月

カヌー未経験者

カヤックガイド
講習会

全5回

● 6月4日ワイズユース講習会

モニター&
本番ツアー

原生花園
花の講習会

● 6月4日ワイズユース講習会

カヌーガイド経験者

モニター
走行

各ガイド2回以上参加

※ガイドが実際のコース
を走行

本番
ツアー

本番ツアー

登録ガイド募集説明会 (5/19)

【概要】

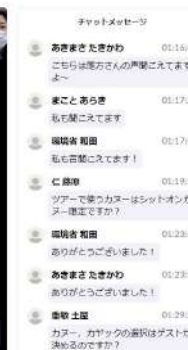
オホーツク農山漁村活用体験型ツーリズム推進協議会（網走市）と共同開催。
それぞれの団体での登録ガイド募集および登録要件、ガイド育成について説明

【実施内容】

当初、5/16（網走市・コネクトリップ）および5/19（小清水町観光協会）の2会場にて行う予定だったが、5/15に北海道に緊急事態宣言が発令されたため、オンライン方式に切り替え、実施も5/19のみとした。

【参加者数】

参加者15名（関係者別途）



カヤックガイド講習会 受講生募集

募集人員	10名程度
受講料	参加費無料
申込受付期間	5/1~5/30

事前説明会
▶ 網走会場: 5月16日(日) 13:00~15:00
【Connectrip 網走市事務局 事務局】
▶ 小清水会場: 5月19日(水) 9:00~11:00
【小清水町観光協会 観光協会事務局】

対象

- ▶ 18歳以上、健康者(障がい者さん、高齢者さん歓迎)、ガイド未経験者OK、カヤック初心者OK
- ▶ 全国どの講習会に参加できる方
- ▶ 4年制大学・専門学校に学ぶ観光公園の自然や地域の産業をこぼれたいだけの大切り絵検校 担うカヤックガイドとシスと一緒に活動できる方

講習会スケジュール

【第1回】ワイスコース基礎講習
会場: 網走市 水島運動センター
5月4日(金) 10:00~15:00

【第2回】カヤック総論・カヤック操作基礎講習
会場: 網走市 Connectrip
5月12日(日) 9:00~16:00

【第3回】カヤック操作基礎講習
会場: 網走市 Connectrip
5月20日(日) 9:00~16:00
5月23日(水) 9:00~16:00

【第4回】カヤック操作基礎講習
会場: 網走市 Connectrip
5月27日(日) 9:00~16:00
5月30日(水) 9:00~16:00

【第5回】濁沸湖での対応法・水難レスキュー方法
会場: 網走市 Connectrip
5月4日(日) 9:00~16:00
5月7日(水) 9:00~16:00

申込
問合せ

TEL/FAX: 050-1099-3708 (担当: C藤野)
E-mail: info@connectrip-okht.com
LINE: 空のQRコード

澱波湖ワイズニュース講習会（6月4日）

【概要】

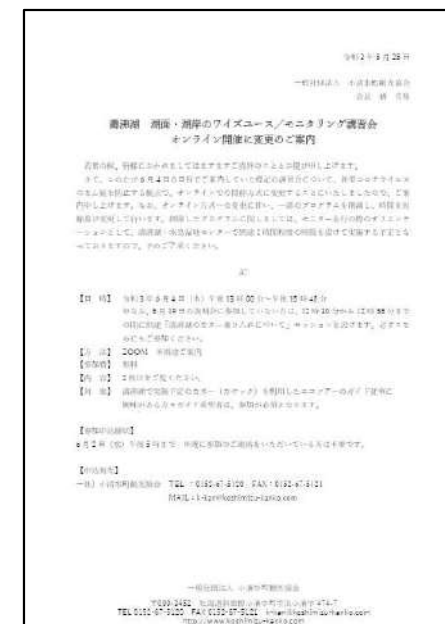
澱波湖ガイド希望者向けに、モニタリングの内容などを説明。

【実施内容】

当初、澱波湖水鳥・湿地センターにて実施予定だったが、緊急事態宣言延長のためオンライン方式に切り替え時間も短縮した。モニタリング対象である「野鳥」「水草」「トンボ」などについて専門家より講義を実施。

【参加者数】

参加者23名（関係者別途）



澇沸湖ワイズユース講習会（内容）

1	13:00~13:05	約5分	挨拶	澇沸湖水鳥・湿地センター (株) 地域環境計画 (一社) 小清水町観光協会
2	13:05~13:35	約30分	澇沸湖の鳥類について	澇沸湖水鳥・湿地センター
3	13:35~13:55	約20分	モニタリングの手法とカヌー走行日誌の記録方法	(株) 地域環境計画
休憩5分				
4	14:00~14:30	約30分	オカヨシガモの識別方法と生息状況の記録	(株) 地域環境計画
5	14:30~15:00	約30分	水草の識別方法と生息状況の記録	(株) 地域環境計画
休憩5分				
6	15:05~15:35	約30分	トンボ類の識別方法と生息情報の記録	(株) 地域環境計画
7	15:35~15:45	約10分	Q&A	予備の時間含みます。

カヤックガイド講習会（7月～）


【概要】

オホーツク農山漁村活用体験型ツーリズム推進協議会（網走市）と共同開催。

カヤックガイドに興味がある希望者向けに、実技・講習を含めた内容で実施。

当初6月から実施予定であったが、緊急事態宣言延長のため、7月に延期。

カヤックガイド講習会 受講生募集



募集人員	10名程度
受講料	参加費無料
申込受付期間	5/1～5/30

事前説明会

- ▶ 網走会場：5月16日（日）13:00～15:00
【Connectrip: 網走市字呼人812-2】
- ▶ 小清水会場：5月19日（水）19:00～21:00
【小清水町観光協会: 小清水町字浜小清水474-7】

対象

- ▶ 18歳以上、兼業・副業OK（農家さん・漁師さん大歓迎）、ガイド未経験者OK、カヤック初心者OK
- ▶ 全5回の講習会に参加できる方
- ▶ 網走湖・瀧渕湖にまたがる国定公園の自然や地域の産業をご紹介いただける大切な役割を担うカヤックガイドとして一緒に活動頂ける方

講習会スケジュール


主催者の都合により日程や講座内容が変更になる場合もあります。集合場所や持ち物など詳細をご案内いたします。

- 【第1回】ワイズユース基礎講習
《会場：瀧渕湖・水鳥湿地センター》
6月4日（金）10:00～15:00
- 【第2回】カヤック教養・カヤック操作基礎練習
《会場：網走湖、Connectrip》
6月13日（日）9:00～16:00
- 【第3回】カヤック操作基礎練習
《会場：網走湖、Connectrip》
A: 6月20日（日）9:00～16:00
B: 6月23日（水）9:00～16:00
- 【第4回】カヤック操作応用練習・カヤック操作技術向上練習
《会場：網走湖、Connectrip》
A: 6月27日（日）9:00～16:00
B: 6月30日（水）9:00～16:00
- 【最終回】不測事態時の対処法・水難レスキュー方法
《会場：網走湖、Connectrip》
A: 7月4日（日）9:00～16:00
B: 7月7日（水）9:00～16:00

※第3回～最終回は各回A・Bの内容は同じですので、どちらか希望の日を選んでください。
※日程につきましては、参加人数によりご希望に添えない場合がございますが、ご了承ください。

※カヤック講習会に必要な装備はすべてこちらで準備がありますので個別でご用意いただく必要はありません。

※参加者には、詳細情報の配信用として LINE のグループに参加していただきます。（アカウントがない方は別途ご相談ください。）

申込 問合せ		【オホーツク農山漁村活用体験型ツーリズム推進協議会・Connectrip】 TEL/FAX: 050-1099-3708（担当: イノカワ） E-mail: info@connectrip-okhotsk.com LINE: 左のQRコード
-----------	---	--

共催: 小清水町観光協会・オホーツク農山漁村活用体験型ツーリズム推進協議会（Connectrip）

カヤックガイド講習会（内容）

回	実施日	参加者	内容
1	6月 23日・27日	13名	カヤック教養及びカヤック操作基礎練習
2	7月 4日・7日	14名	カヤック操作基礎練習
3	7月 11日・14日	14名	カヤック操作応用練習及びカヤック操作技術向上練習
4	7月 18日・21日	13名	不測事態時の対処法と水難レスキュー方法等

※同じ内容を2つグループに分けて、全4回で行った。



小清水原生花園 花の講習会 (7月4日)

【概要】

濤沸湖および小清水原生花園を組み合わせたツアー造成のため、原生花園を案内できるような人材育成を目指して、花について学ぶ基礎講習会

【参加者数】

参加者15名



ガイド向け！

小清水原生花園 花の講習会

2021年7月4日(日) 13:00~16:00

- 植物の観察ポイントを身に付けよう
- 見分けに強くなろう
- 小清水原生花園の花に詳しくなろう

講師: 内田 暁友 氏	内容	小清水原生花園の花を中心に産学で種生や花の構造の基本を学んだあと、実際にフィールドで観察します。
定員	10名程度	申込・問合せ
申込締切	7月3日(土)	TEL: 0152-67-5120 FAX: 0152-67-5121
参加費	無 料	LINE: QRコード Mail: kkan@kosuimizu-kanjo.com
集合	小清水原生花園インフォメーションセンターhana	※開始5分前までにお越しください。

主催: 一般社団法人 小清水町観光協会

濤沸湖テストモニター走行（7月～）

実施日	参加者	所属等
7月3日（午後）	1名（午前・午後） 2名	弟子屈町ガイド 網走市ガイド
7月9日（午前・午後） ※撮影	3名（午前・午後）	弟子屈町ガイド
7月17日（午前・午後）	1名（午前・午後） 1名（午前のみ）	網走市ガイド
7月28日（午前・午後）	1名（午前・午後）	網走市ガイド
8月27日・28日	撮影	清里町ガイド

※実際にコースを走行し、想定ツアー内容に沿って水鳥・湿地センターでビデオ鑑賞・レクチャー受講



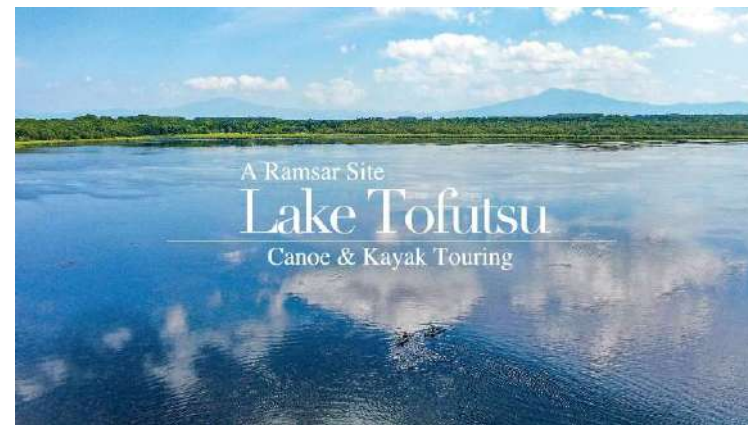
濤沸湖テストモニター走行評価（ガイド）

【フィードバック】

- カヤックとカヌーでは、お客様がツアーに持つイメージに隔たりが出てくるので、申込時から分けた方が良いでしょう。
- エコツアーを明確にうちだすのであれば、じゃらんや体験ドットコムなどのOTA以外にもホームページでしっかり告知するページを設けた方が良いでしょう。
- 緊急時の避難ルートをガイド全員で共有し、その他問題点などを洗い出した方が良いでしょう。
- 現状のツアー案は、「濤沸湖水鳥・湿地センター → カヌー・カヤック体験」という流れであるが、天候急変などで乗れなくなってしまう可能性があるため、天候が安定している間に先にカヌーやカヤックに載せてしまっ、その後しっかり水鳥・湿地センターで勉強する流れにした方が良いでしょう。
- ガイド料の設定については、遠方からの場合は、交通費の上乗せなどが無いと受ける側の採算性が取れない。

静止画・動画撮影

7月（カヌー）・8月（カヤック）で実施。チラシやホームページに使用する他、PR用にティザー動画作成



本番ツアーの告知開始（7月下旬～） - 1

自社サイト



北海道体験



TORI-TABI

ラムサール条約登録湿地・濁沸湖

カヤック・カヌーで 水上からめぐるエコツアー

登録ガイドと一緒に湖面を探索しよう！

**期間限定
6月▶8月**

小清水町観光協会ビジターセンターで受付中！

集合	小清水ツーリストセンター (道の駅 はなやか小清水隣)
開催時間	午前の回：10時～12時30分 午後の回：13時～15時30分 ※集合場所からの移動時間を含みます。参加時間の変更はご相談ください。
服装	ドライタイプの動きやすい服装でお越しください。
対象	中学生以上・体重90kg以下 ※中・高校生の場合、保護者の同伴が必要です。

カヤック 1名	9,000円	1名参加の場合 18,000円
カヌー 1名	11,000円	1名参加の場合 22,000円

お申込み・お問合せ 一般社団法人 小清水町観光協会 TEL: 0152-67-5120

(公社) 北海道観光振興機構の「令和3年度地域の魅力を活かした観光地づくり推進事業」の支援を受けています。

本番ツアーの告知（内容） - 2

facebook広告

DOSHINプラウ 7/30

DOSHINプラウ 8/6

広告プレビュー

KOSHIMIZU-KANKO.COM
期間限定・8月下旬まで！
小清水町観光協会 ラムサール条約

いいね! コメント シェア

トリタビ通信 Vol.15



カヌーやカヤックなどの湖内利用ができない瀧沸湖（とうふつこ）では、8月31日までの期間限定で、登録ガイドによるエコツアーを実施中です。春と秋に数千羽の水鳥が飛来する瀧沸湖は、渡り鳥の中継地、越冬地、繁殖地として国際的に重要な湿地としてラムサール条約に登録されました。湖畔には、国の天然記念物オジロワシや特別天然記念物のタンチョウなどが春から夏にかけて繁殖し、一年を通して200種類以上の鳥が見られます。ツアーでは、カヤック乗艇前に、瀧沸湖水鳥・湿地センターで、ビデオやレクチャーによる簡単な事前知識を学んだ後に、湖の保全について知識を持つ登録ガイドがカヤックで水上から瀧沸湖を案内してくれます。カヤック乗り入れによる影響をモニタリングするために、野鳥の出現状況や水草などが記録をつけることのあるので、野鳥や環境についても貴重な話が聞けるかもしれません。知的好奇心を満たしてくれるエコツアーで、ガイドと一緒に瀧沸湖の水上探索を楽しんでみませんか！



期間限定 ラムサール条約登録湿地・瀧沸湖をカヤックで水上からめぐるエコツアー

1年のうち3か月間だけ、登録ガイドによるツアーでしか体験できない瀧沸湖を水上から楽しむツアー！

体験料金 1名9,000円(2名以上・税込) カヤックが自身で用意していただきます。

小清水町アクティビティ割引 10月31日まで好評実施中!
半額割引で1名4500円※一般の方のカヌー・カヤック等による水上利用はできません。

期間 6月～8月 **時間** 10:00～・13:00～

人数 2名～4名様 ※1名の場合は、2名分の料金をお支払いください。

所用時間 約2時間30分

無料レンタル カヌー・カヤック道具一式、双眼鏡

小清水町観光協会 ビジターセンター
TEL 0152-67-5120
9:00～17:00
小清水 鳥居 小清水 橋

モンベル オボーツク小清水店
TEL 0152-67-7062
10:00～19:00
小清水 鳥居 小清水 橋

〒099-3452 斜里郡小清水町字浜小清水474番地の7

猛暑の夏は小清水町で水遊びアクティビティ 瀧沸湖をカヤックで巡るエコツアー新登場

カヌーやカヤックなどの湖内利用ができない瀧沸湖（とうふつこ）では、8月31日までの期間限定で、登録ガイドによるエコツアーを実施中です。春と秋に数千羽の水鳥が飛来する瀧沸湖は、渡り鳥の中継地、越冬地、繁殖地として国際的に重要な湿地としてラムサール条約に登録されました。湖畔には、国の天然記念物オジロワシや特別天然記念物のタンチョウなどが春から夏にかけて繁殖し、一年を通して200種類以上の鳥が見られる鳥たちの楽園です。ツアーでは、カヤック乗艇前に、瀧沸湖水鳥・湿地センターで、ビデオやレクチャーによる簡単な事前知識を学んだ後に、湖の保全について知識を持つ登録ガイドがカヤックで水上から瀧沸湖を案内してくれます。カヤック乗り入れによる影響をモニタリングするために、野鳥の出現状況や水草などが記録をつけることのあるので、野鳥や環境についても貴重な話が聞けるかもしれません。知的好奇心を満たしてくれるエコツアーで、ガイドと一緒に水上から瀧沸湖の水上探索を楽しんでみませんか！

お問い合わせは、
（一社）小清水町観光協会
電話 0152-67-5120

本番ツアー実施（8月22日）

【概要】

2組の参加者申込（直接電話問合せ）。当日は風が強い予報（7～8m）で、途中で引き返す可能性がある旨伝えて実施。実際に平和橋までで折り返した。また行程を、カヌー→濤沸湖水鳥・湿地センターに変更して行った。

ガイドはコネクトリップより派遣1名、観光協会サポート1名（合計3艇）



ツアー後アンケート（8月22日）

澗沸湖カヌー・カヤックツアー事後アンケート

本日はご参加いただきまして、ありがとうございました。今後のプログラムの参考にさせていただきますので、アンケートのご協力をお願いします。

● 以下、該当するものに○をつけてください。

	←悪い		良い→		
ツアーの長さ（所要時間）はどうでしたか？	1	2	3	4	5
カヌー・カヤックの内容はどうでしたか？	1	2	3	4	5
ビデオ・レクチャーの内容はどうでしたか？	1	2	3	4	5
ガイドの説明は分かりやすかったですか？	1	2	3	4	5

澗沸湖カヌー・カヤックツアー事後アンケート

本日はご参加いただきまして、ありがとうございました。今後のプログラムの参考にさせていただきますので、アンケートのご協力をお願いします。

● 以下、該当するものに○をつけてください。

	←悪い		良い→		
ツアーの長さ（所要時間）はどうでしたか？	1	2	3	4	5
カヌー・カヤックの内容はどうでしたか？	1	2	3	4	5
ビデオ・レクチャーの内容はどうでしたか？	1	2	3	4	5
ガイドの説明は分かりやすかったですか？	1	2	3	4	5
参加していかがでしたか（全体の満足度）	1	2	3	4	5

● 普段どんなアウトドア・アクティビティをされていますか？いくつでも選択してください。

しない カヌー 自転車 トレッキング・登山 スキー・スノボ スノーシュー キャンプ
バードウォッチング（野鳥観察） その他（ ）

● ご自由にご感想・ご意見など記入ください。

「風が強いの日でしたので、このことには一生懸命になってしまいました。
動物たちには影響がないように、カヌーを出すとこには、
鳥はみずり
おまかせして頂きたい
ありがとうございました よいと思います。」

澗沸湖カヌー・カヤックツアー事後アンケート

いただきまして、ありがとうございました。今後のプログラムの参考にさせていただきますので、ご協力をお願いします。

以下のものに○をつけてください。

	←悪い		良い→		
ツアーの長さ（所要時間）はどうでしたか？	1	2	3	4	5
カヌー・カヤックの内容はどうでしたか？	1	2	3	4	5
ビデオ・レクチャーの内容はどうでしたか？	1	2	3	4	5
ガイドの説明は分かりやすかったですか？	1	2	3	4	5
参加していかがでしたか（全体の満足度）	1	2	3	4	5

澗沸湖カヌー・カヤックツアー事後アンケート

いただきまして、ありがとうございました。今後のプログラムの参考にさせていただきますので、ご協力をお願いします。

以下のものに○をつけてください。

	←悪い		良い→		
ツアーの長さ（所要時間）はどうでしたか？	1	2	3	4	5
カヌー・カヤックの内容はどうでしたか？	1	2	3	4	5
ビデオ・レクチャーの内容はどうでしたか？	1	2	3	4	5
ガイドの説明は分かりやすかったですか？	1	2	3	4	5
参加していかがでしたか（全体の満足度）	1	2	3	4	5

● アウトドア・アクティビティをされていますか？いくつでも選択してください。

カヌー 自転車 トレッキング・登山 スキー・スノボ スノーシュー キャンプ
バードウォッチング（野鳥観察） その他（ ）

● ご自由にご感想・ご意見など記入ください。

「とても楽しく、自然を感じることができました。
お楽しみになりました。」

ありがとうございました

ツアーの長さや全体の満足度など5項目でアンケートを実施。平均で85点の満足度。

まとめ

【カヌー・カヤックガイドの育成・登録制度について】

- 登録ガイドの条件であるモニタリング技術（野鳥の識別など）は実際にモニター走行した結果、「遠方で飛び立つ鳥が何の鳥か判別できない」が一番のボトルネックとなった。モニタリングの内容や講習会の内容についてなど、次年度以降の見直しが必要
- 登録ガイドに必須である「ワイズユース講習会」は、毎年受講を求めるため、外部の専門家による講師費用などのランニングコストが毎年必要となる。ランニングコストを抑えた効率的な講習会を実施する上では、毎年利用できるビデオレクチャーなどの作成がのぞましい。
- ガイドのモニタリング技術を向上し、繁忙期においてもガイドを確保するためには、ガイド自身のモチベーション向上（濤沸湖に対するファン化）を促す必要がある。